

2月11日

日本聖公会 組織成立記念日

(1887.2.11)



英国国教会の流れをくむ聖公会の信仰は、英国の伝道協会であるCMSやSPG、米国聖公会、そしてカナダ聖公会からの宣教師によって伝えられて来た。彼らは19世紀後半における本国の教会での神学・礼拝様式に基づいて、宣教を行ってきた。その結果、カトリック主義、福音主義、リベラル・カトリック主義という違った神学的立場の教会が建てられていく。

また、1886年～88年は、プロテスタント諸教会においてキリスト教伝道が活発に行われ、そのうちキリスト教が日本の国教になるのではないかととも思われていた。

その中、英国のピカステス主教と米国のウィリアムズ主教は、1887年2月11日、日本聖公会創立の第一回総会を大阪で開催する。前述のように英米の宣教師に神学的立場の違いはあるが、ピカステス主教の学識と手腕、そしてウィリアムズ主教の謙虚な協力によって、この総会において組織は成立する。彼らは日本聖公会の自治・自給・自主伝道の三原則を目的とし、神学的主張の相違を乗り越えて一致協力する道を見出す。二人の主教が日本聖公会の拠って立つ基盤として据えたのが、総会の前年1886年に米国聖公会シカゴ総会で決議され、総会の翌年1888年

のランベス会議で決議するため、原案として用意されていた「シカゴ・ランベス四綱領」であった。この「四綱領」は日本聖公会の「法憲」の中核を担っていた。その後法憲法規は整備され、今では四綱領は法憲からはずれ、「聖公会綱憲」と呼ばれている。

現在、「聖公会綱憲」は聖公会手帳の1ページにも書かれている。内容は聖書に関すること、信経に関すること、聖奠に関すること、そして3職位に関することであり、いつも私たちはその内容を確認できるようになっている。(Y)

<特禱>

全能の神よ、あなたは福音の光によってこの国を照らし、わたしたちを使徒たちからの唯一の聖なる公会に召し、主に仕えさせてくださいました。どうかこの恵みをますます感謝し、信仰の道を正しく歩むことができるように導いてください。また、み名を唱えるすべての人を祝福し、み子にあって速やかに一つにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン